



■ フランス出身 経済学部1年

好奇心と言語力を活かして
日本を、そして世界をリードできる
人材になることを目指します。

Q維持会奨学生として思うことは？

このたび維持会のご支援を賜り、これから学業に思う存分没頭できると思うと、喜びを感じると同時に奨学生としての重責を感じます。奨学生としての名に恥じぬ学業を修め、実りある学生生活を送りたいという所存でございます。

Q一番興味のある授業は？

英語特別上級セミナー「A Global History of Food」です。生きていく中で必要不可欠である「食」とその歴史を、私と同じ帰国子女など、多様な人生経験を持つ仲間と教員と共に学ぶ中で、私の世界観が大きく変わりました。私たちの栄養源であり文化でもある「食」は我々の自己同一性の一部でもあり、またその強調にもつながるものです。こうしたなかで、私たちが毎日、当たり前のように消費している米、野菜、肉、砂糖、お茶、コーヒーなどがどのように、そしてなぜ社会に浸透し、どういう目的で歴史上扱われてきたのかを心理的・宗教的・政治的・経済的視点から学ぶことによって、「人間」と「社会」、そして「世界」についての知識が深まることを日々実感しています。

Q課外活動で力を入れていることは？

私は現在、慶應義塾大学公認団体Kプレミアムオーケストラ（通称Kオケ）にバイオリニストとして在団しています。週2回の演奏練習と年2回の定期演奏会を通して、塾生と和になって、団体創立のきっかけとなった「全ての人に音楽で感動を」という目標のために精一杯力を尽くしています。また、語学学校でもある私の寮で、フランス語会話の教師として頑張っています。

Q慶應義塾の良いところは？

優秀で多才な塾生たちに囲まれ、素晴らしい教員陣に恵まれる中で、質の高い授業を通して専門的知識と学際的知識を身に着けることができ、人間として成長ができることです。キャンパス内は義塾が大切にしている理念である「実学の精神」と「気品の泉源」であふれています。また、義塾がこうした特別な学問の府であるのも、義塾の教育・研究の振興、そして施設の拡充などに幅広く寄与してくれています維持会のおかげであることを実感し、感謝の念に堪えません。

◎ 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

今後は、授業、課外活動やインターンシップなどを通して、経済学の専門的知識、そしてコミュニケーション能力を身に着けたいと思います。また、日本語とフランス語のバイリンガルである私は今まで英語・スペイン語・中国語・古代ギリシャ語・ラテン語などに触れてきましたが、これらの言語以外にも習得の幅を広げたいと思っています。

◎ 卒業後の進路、将来の夢は？

将来の夢は尽きない好奇心と言語力を活かして国際機関や国際企業に勤めて日本とフランス、そして世界を何らかのかたちで繋げることです。塾生として日本を、そして世界をリードできる人材になることを目指し、日々精進して参りたいと思います。